

メルマガ バックナンバー

国産繭・生糸センター事務局は、国産繭・生糸を応援してくれる皆さんに向けて、メールマガジンにより、蚕糸に関するイベントや WEB 情報等を配信しておりますので、ぜひご覧ください。

バックナンバーに掲載されている URL については、配信当時のものとなるため現在はリンク切れとなっている場合があります。

2026年

2026/1/16 第1回 配信

【2026年1月号 第1回】

このメールマガジンは、国産繭・生糸サポーターの皆さんに配信しています。

この度、大日本蚕糸会は、日本の蚕糸業に対する支援の輪が広がることを目指して、国産の繭・生糸に対する思いを同じくする「国産繭・生糸サポーター」制度を創設しました。今後、このメールマガジン（原則毎月一回）を通して、蚕糸に関するイベントやWEB情報等をお送りしますので国産繭・生糸に対する理解を深めていただければと思います。

また、サポーターの皆さんのが企画しているイベント情報を他のサポーターにお送りすることもできますのでメールにてお問い合わせください。（[メルマガ規約第5条参照](#)）



【目次】

- ・大日本蚕糸会からのお知らせ
 - ・イベント情報
 - ・蚕糸 WEB 情報
-
-

大日本蚕糸会からのお知らせ

◆雑誌「[シルクレポート](#)」令和8年1月号No.88を発行しました。

◆国内の危機的な蚕糸業を知りたい方はこちら

蚕糸業の現状について

◆3月は「蚕糸月間」

蚕糸会では、3月を「蚕糸月間」として蚕糸業に関して理解を深めていただくイベントや国産繭・生糸の付加価値向上等の取組を関連イベントとして募集し、蚕糸会のホームページで公開します。

「蚕糸の日」の趣旨に賛同いただける方は、①イベントのタイトル、②イベントの内容、③主催者、④連絡先を記載して、2月13日（金）までにこのメールにてご連絡ください。（昨年のイベント情報は下記のURLに掲載されています。）

蚕糸の日/蚕糸月間 URL : <https://silk.or.jp/business/silkday/>

イベント情報

◆和文化シンポジウム～畳・花・茶・着物四業界の未来への取組～

主催：農林水産省

日時：令和 8 年 2 月 10 日（火）

場所：農林水産省講堂（7 階）（東京都千代田区霞が関 1-2-1）

参加費：無料（事前登録制）

詳細 URL：[和文化シンポジウム](#)

◆蚕糸の日 2026 フォーラム

主催：（一財）大日本蚕糸会/（一社）日本サステナブルシルク協会

日時：令和 8 年 3 月 13 日（金）

場所：東京ウイメンズプラザ ホール（B1 階）（東京都渋谷区神宮前 5-53-67）

参加費：無料（事前登録制）

詳細 URL：[蚕糸の日 2026 フォーラム](#)

◆現在開催中、開催予定のイベントについては下記の URL から

<https://silk.or.jp/business/related-event/>

蚕糸 WEB 情報

- ・[糸にとどまらない“多用途シルク戦略”スマート養蚕の山鹿シルクの現在地](#)
- ・[学校キャラバン 価値学び故郷の自慢に富岡製糸場世界遺産伝道師協会会長](#)
- ・[純国産絹糸「プラチナボーイ」プロジェクト 20 周年記念展「源（みなもと）」開催](#)
- ・[「食べるシルク」効果期待 アパレル会社（大蔵）が開発](#)
- ・[捨てられていた西陣織の「絹の涙」 帯を織る前から売れるビジネスモデル](#)
- ・[富岡製糸場煙突工事現場公開 保存修理 26 年度完了目指す](#)
- ・[大和で小正月の風習再現 かつて養蚕農家で行われた「繭玉団子飾り」](#)
- ・[コオロギ食ブームではバッシングも…信州“昆虫食の聖地”に残る食文化 カイコ入りポップコーン、蜂の子フィナンシェに見る「受け継がれる伝統」](#)

■□■————■□■

お問合せ／メルマガ掲載希望／配信停止はこちらにご連絡ください。

国産繭・生糸サポート事務局（一般財団法人大日本蚕糸会）

Email：silk-info@silk.or.jp

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

■□■————■□■

[TOP へ戻る](#)

